

2月番組表

時	番組内容
6	まちの話題 ホットニュース
7	宇陀市政なう お知らせ（静止画）
8	お知らせ（音声付き静止画） からだほぐしストレッチ／お天気カメラ
9	まちの話題 ホットニュース
10	宇陀市政なう お知らせ（静止画）
11	お知らせ（音声付き静止画） うきうきダンス／お天気カメラ
0	まちの話題 ホットニュース
1	宇陀市政なう お知らせ（静止画）
2	お知らせ（音声付き静止画） ウェルネスうだ体操
3	お知らせ（静止画）
4	いきいき歯ッピー体操／お天気カメラ
5	お知らせ（静止画） お知らせ（音声付き静止画）
6	まちの話題 ホットニュース
7	宇陀市政なう お知らせ（静止画）
8	うきうきダンス ウェルネスうだ体操
9	まちの話題 ホットニュース
10	宇陀市政なう お知らせ（静止画）
11	まちの話題 ホットニュース
0	宇陀市政なう お知らせ（静止画）



令和3年1月1日現在

※（ ）内は前月比

総数	29,223人 (-25)
男	14,010人 (-4)
女	15,213人 (-21)
世帯数	12,914世帯 (27)



自主放送スタジオ（☎／IP ☎ 82・2497）

※番組内容および、放送時間は予告なく変更される場合があります。ご了承ください。

番組内容	1日～10日	11日～20日	21日～末日
ホットニュース	○宇陀市成人式	新型コロナウイルス感染拡大防止によるイベント等の中止に伴い未定	○霧氷バス乗客への宇陀市PR
宇陀市政なう	市の取り組みや行政情報		
	○うだしなかよし献立 野菜たっぷりクッキング：茄子とかぼちゃのそぼろあんかけ（再放送）	○図書館 今月のイチオシ	○うだしなかよし献立 ○UDA UDA ENGLISH
まちの話題	○冬の風物詩 ○室生染田 十輪寺「乱声」 ○大宇陀宮奥 勧請縄の架け替え	○宇陀市内のとんど	○「やたきや薬草農園」を訪ねて ○鳥見山公園桜再生プロジェクト



英語で表記してみました。
下の日本語を見ずに、読んでみてくださいくださいね(^^)v



From: ベス
(大宇陀中・菟田野中)

February 14th is Valentines Day. In Japan women give men chocolate. But in the west it's the opposite. Men give women presents. Of course chocolate is the most popular. But flowers, stuffed toys and jewellery are also popular.

When we give the present we say, “Will you be my valentine?”

2月14日はバレンタインデーです。日本では女の人から男の人にチョコレートをあげますね。でも欧米は逆なのです。男の人が女の人にプレゼントをあげます。もちろんチョコレートは1番人気ですがお花やぬいぐるみやジュエリーも人気です。プレゼントを渡す時に「私のバレンタインになりませんか？」と言います。

奈良国立博物館で開催されていた「新たに修理された文化財」展。室生大野の正福寺に伝わる県指定文化財の能面の修理が終わり、同展で展示されるため見に行ってきました。▼室町時代のものでとされる地元の方が受け継いできた文化財を間近に見ることができ、とても感慨深い思いになりました。▼新型コロナウイルスの影響で様々な伝統行事が苦渋の決断で中止となっています。しかし、過去にはもっと恐ろしい病気が流行したこともあったはず。それでも続いているものを今、終わらせるわけにはいきません。▼伝統を残していくためにも、この状況が1日でも早く終息することを祈るばかりです。



宇陀を駆けた人々

織田 高長 篇 1

35

苦勞人

高長

今回は江戸時代初めに宇陀郡を治めていた宇陀松山藩二代藩主織田高長（織田信雄五男）についてみていきたいと思います。

高長は、天正18（1590）年に信雄が時の天下人豊臣秀吉と共に小田原征伐に参加し、改易された織田信雄にとって波乱の年に尾張国（愛知県）で誕生しました。高長の母は、後に加賀藩（石川県）前田家に仕える久保三右衛門の娘とされています。信雄の改易直後は、信雄の長男、織田秀勝の下に身をよせていましたが、最終的には、加賀藩二代藩主の前田利常の家臣として金沢にいたようです。また高長は前田家の家臣として、徳川家と豊臣家の戦である大坂夏の陣に徳川家側として参加したようです。

信雄は、上野小幡藩（群馬県）藩主である織田信良（信雄四男）が寛永3（1626）年に死去すると前田家の下にいた高長を呼び戻し、信良の息子であります信



昌（当時2才）の後見人として指名したようです。高長は、寛永7（1630）年に信雄が死去すると、信雄の遺領の宇陀郡3万石程を相続します。しかし上野小幡藩主である信昌の家臣と織田信雄系統の本家争いを起こしている。最終的には、江戸幕府は、宇陀領の相続と本家を高長が受け継ぐものとして認めました。

高長は、信雄により建造された長山屋敷（大宇陀地域事務所付近）を宇陀郡の政庁として使用し、万治2（1659）年に隠居するまで宇陀松山藩主として藩政を主導します。

文・北畠 俊（文化財課）



「こころの春」を

みんなの力で

「立春」を迎え、暦の上ではもう春です。暖かな明るい陽射しを徐々に感じるができます。このころに吹く最初の暖かな南風は「春一番」と呼ばれ、草木が芽を出す姿も見られるようになってくるでしょう。

このように自然界は、いよいよ春の到来を予感させる季節を迎えているのですが、人間社会には冬のように冷たいことがまだまだ存在しています。格差や貧困、虐待、いじめ、DVなど様々な人権侵害が後を絶たない現実があります。

さらに、新型コロナウイルスによる感染状況の収束が依然として見えない中で、不安や恐れから来る感情が、攻撃心や人権侵害を引き起こしています。「コロナ禍」は、人々の潜在的な差別心をより表面化させ、拡大させているとも言われています。

多くの人たちの活動や努力の積み重ねにより、人権尊重の意識の広がりや人権侵害を解決していくための法令の実現など、大きな成果を生み出しています。しかし、人権侵害の解消には至っていません。自然界の暖かい春の訪れと同じように、私たちの社会にも、人権侵害が収束する「こころの春」を迎えさせたいものです。そのために自分の中に差別や偏見が巣くつていないか、私たち一人ひとりの意識を確かめ合い、人権問題の解決に向け、力を束ね合わせることで大切だと思います。「こころの春」をみんなの力で引き寄せましょう。

